

埼玉県こども動物自然公園 自由広場トイレ



正門

豊かな自然が広がる広大な園内には、12ヶ所のトイレが点在。1980(昭和55)年の開園から大切に修繕を重ねて利用されてきたが、そのうちの一部のトイレを、先行モデル事業として、開園しながら建替えを実施した。



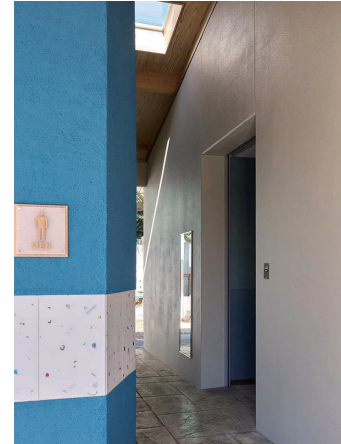
外観

建替えされた自由広場トイレは、園内中央部に位置。大きな屋根に覆われたトイレは、以前のトイレより2倍以上の面積に拡大。お子様が安心でき、だれもが利用しやすいように配慮している。裏手には屋外ステージがある。



入口

トイレ正面中央は、キッズトイレ入口の自動ドア、その左右は、建物裏手側へも通り抜けできる男女別トイレ入口への通路。また、男女共用個室トイレ、バリアフリートイレも正面左右に配置している。



男性トイレ 入口



裏手の屋外ステージ側へは、男女別トイレ前とキッズトイレ間の通路を介して通り抜けが可能。通路は、屋根に覆われた全天候型で、明るさを確保するように天窓を設置。屋根裏には埼玉県産の木材を使用している。



男性トイレ 洗面コーナー

大きな窓から外光が差し込む明るい空間。寒色系の内装色に温かみのある木目枠の大きな鏡を設けた。洗面器の間には吸引式のクリーンドライを設置。さらに、小さなお子様がいやすい高さにも洗面器を設置している。



男性トイレ 小便器コーナー



きれいな除菌水により超節水が可能な壁掛型の自動洗浄小便器の隣にフックを用意。足元には、尿の飛散による汚れやにおいを抑えるハイドロセラフロアPUを採用。プライバシー配慮として、仕切り壁を設けている。



男性トイレ 大便器コーナー



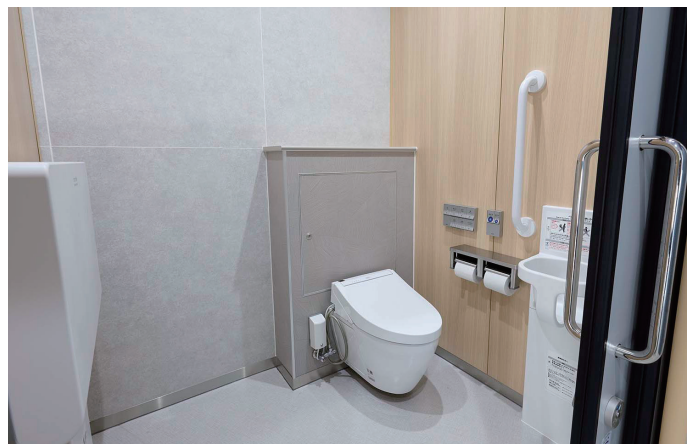
2ヶ所ある大便器ブースは、どちらもベビーチェアを設置した広めのブース。各ブースの空き状況がひと目でわかるよう壁上部に設置したランプは、扉と大便器周辺のセンサーに反応する仕組みとなっている。



男性トイレ 広めのブース①



①のブースは窓を設けた明るい空間。器具は、連続洗浄が可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式にウォシュレットPSを設置。リモコンは、ボタンを押すたびに発電し、電源不要のエコリモコンを選定している。



男性トイレ 広めのブース②

②のブースは、2枚引戸を採用し、ベビーカーのまま入室できる広さを確保。さらに、ベビーチェアとベビーシートを設置。壁掛式の大便秘器は、床の清掃性に加え、開園中の工期短縮とメンテナンス性にも配慮している。



女性トイレ 入口



天窓を設けた通路から入る女性トイレは、暖色系を基調とした空間。男女別トイレは閉園時に入口のシャッターを閉めることで、虫や小動物の侵入を防ぎ、長くきれいに利用し続けることができる。



女性トイレ 洗面・スタイリングコーナー

暖色系の内装に白のアクセントを効かせた空間。男性トイレと同仕様の洗面コーナーに加え、意匠性にこだわった荷物置き棚を完備したスタイリングコーナーを設置。心地よさと使い勝手に配慮されている。



女性トイレ 大便器コーナー

建物の両側から外光を取り入れた明るい空間には、温かみのある木目調のブース材を選定。間仕切り壁を天井まで立ち上げて個室感を高めた大便器ブースには、I型手すりを設置している。

埼玉県こども動物自然公園 自由広場トイレ



キッズトイレ 全体

自由広場トイレの中央に独立して配置されたキッズトイレ。空調を完備し、正面の自動ドアと裏手の手動引戸で通り抜けが可能。空間中央には、高さの異なる洗面器が設置され、お子様が利用しやすいように配慮している。



キッズトイレ
洗面器コーナー

洗面コーナーには、自動水栓と自動水石けん供給栓に加え、カウンター下に電気温水器を設置。非接触で衛生的かつ快適に手洗いができる。



キッズトイレ
幼児用大便器ブース



外から大人が見守りやすいように、ブースの壁の高さを低くした幼児用大便器ブース。また、大便器の横には、座位姿勢をサポートするL型手すりを設置している。



キッズトイレ
幼児用小便器



幼児用小便器は、体勢を安定させるグリップ付を選定。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを抑える建材を設置した。その近くに、兄弟や順番を待つ際に座って過ごせるベンチを設けている。



キッズトイレ
着替え・
おむつ替えコーナー

靴を脱いであがる着替えブースは、姿勢保持用の手すりを設置。さらに、飽きずに過ごせるようにお子様の視線の高さにポスターを掲示できるパネルを用意。外側には、小さな丸形鏡をさまざまな高さに設置している。



男女共用個室トイレ

男女別トイレのほかに、異性の見守りが必要な方やベビーカーのままでの利用など、性別や年齢、身体状況を問わずに使用可能な男女共用個室トイレを設置。お子様がひとりで飛び出さないよう上下2ヶ所に鍵を設置。



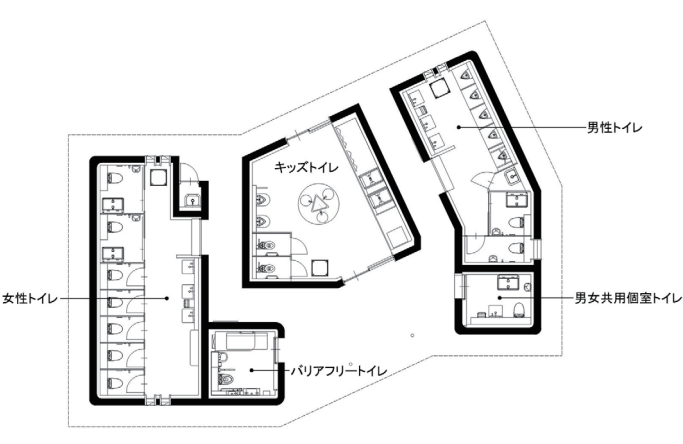
バリアフリースイレ

工事工程の簡素化が可能な壁掛式大便器のコンパクト・バリアフリースイレバックを設置。停電時洗浄レバー付を選定した。クリーンドライと収納式多目的シート、利用者のプライバシーに配慮しカーテンを設置している。



バリアフリースイレ

保護者のトイレ使用中にも、発達障がいのお子様などが待っていられるように興味をひくアイキャッチとなるアートを収納式多目的シートの上に掲示。ドア開閉センサーは、音声と画面で操作説明がされる。



図面

大きな屋根の下に3つのトイレ空間を設け、その間に2本の通り抜けが可能な通路を設置。中央にキッズトイレを配置し、お子様が安心できるだけでなく、トイレ棟全体でだれもが利用しやすいように配慮している。

水まわりの特長

建物の特徴

「埼玉県こども動物自然公園」は、埼玉県東松山市の自然豊かな丘陵内に位置した動物園。1980(昭和55)年に開園し、長年、家族連れや遠足の定番スポットとして親しまれてきた。面積約46ヘクタールの広々とした園内には、「世界一しあわせな動物」と言われる国内唯一のクオッカをはじめ、約140種の動物たちがのびのびと暮らしている。人と動物たちとの距離が近く、野生動物の暮らしを感じ、触れあうことができる。開園から46年が経過した園内にある12ヶ所のトイレは、修繕や一部洋式化を重ねて改修してきたが老朽化してきたため、2ヶ所の建替えを実施。県営公園トイレ整備の先行的モデル事業として、施設の長寿命化を図った。開園中に実施される建替え工事のため、短工期・省施工の器具選定に配慮された。

トイレの特長

園内中央部に位置する「自由広場トイレ」は、体験学習や環境教育の拠点となる「森の教室」と屋外ステージに隣接。イベント開催時は、特に利用者が集中していたことから、以前のトイレより2倍以上の面積に拡大。中央に空調を完備し独立したキッズトイレを設けたほか、男女別トイレに加え、性別や年齢、多様な属性や身体状況の方が利用しやすい男女共用個室トイレ、バリアフリースイレを整備。訪れるすべての人が快適に利用できる。男女別トイレ入口前とキッズトイレの間にそれぞれ、天窓から外光を取り込む屋根付きの明るい通路を設け、建物の正面と裏手への通り抜けを可能にしている。また、閉園時にトイレ入口のシャッターを閉めることで、虫や小動物の侵入を防ぎ、長くきれいに利用し続けることができる。

建築概要

名称	埼玉県こども動物自然公園 自由広場トイレ
所在地	埼玉県東松山市岩殿554
施主	埼玉県
設計・監理	古郡建設株式会社 一級建築士事務所
施工	古郡建設株式会社
竣工年月	2026年2月
敷地面積	320,000㎡(北園のみ)
延床面積	124.34㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部木造・地上1階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C1A
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AU
ウォシュレットアプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5841AUPR
管理清掃用リモコン:TCA393
自動洗浄小便器:UFS900JS
ハイドロセラ・フロアPU:AB680BR
壁掛ハイバック洗面器:LSE135ACR
洗面器:LS703
自動水栓一体形電気温水器:REAH03B1RS26MK
自動水石けん供給栓:TLK07S08JA
クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC430WJ、TYC320W
コンパクト・バリアフリースイレバック:UADAK21L1A1ASD1BB
収納式多目的シート:EWC520AR系
幼児用大便器:CS300B
幼児用小便器:U310GY
ベビーシート:YKA25N
ベビーチェア:YKA15S
パブリック用手すり:T112C6、T112CU22
フック:YKH52AR